

◆ 2019 年度 活 動 報 告 シ ー ト ◆

団体名：NPO 法人 荒川の自然を守る会

22A-27

代表者：代表理事 菅間宏子

URL :

1. 活動が必要とされた状況

上尾市西野堤防に在来野草アマナの大群落があります。県で絶滅危惧種になっている植物。ところがヒガンバナの増加と花火大会にあわせた早期の堤防除草により早春に必要な日照が不足し開花が減少しているため除草をして守る必要がある。昨年、サイサン環境保全基金の助成をいただき 3 回目の除草をすることができた。おかげでたくさんのアマナの開花を見ることができ、種子もできた。

今後荒川上流河川事務所に国として試験的な堤防の草刈りを要望している。市民にアピールするためにも開花させ、見てもらう必要があった。

2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

2019 年 12 月国土交通省に堤防作業申告

2020 年 1 月 20 日西野堤防の除草

3. 活動の成果

約 5000 m²分の枯れ草とヒガンバナの除草ができた。アマナの発芽前に日照阻害要因を取り除くことができた。

4. 今後に残された課題

堤防の除草は年 2 回が普通になっているが、今後継続的に年 3 回の除草を国に要望していくことが必要であることを国に要望をしていきたい。またアマナの大群落の貴重さを多くの人にアピールすることが必要。堤防は首都圏の大草原でありその植生を在来野草に回復していくことは有用な自然保護活動であり日本の財産になる。

1 月 20 日除草作業

